

平成29年度 第1回 天王寺区区政会議（合同会議）

日 時：平成29年7月26日（水）

午後7時00分～午後9時09分

場 所：天王寺区役所 3階 講堂

出席者

（区政会議委員）

石川委員・出水委員・一本松委員・江畑委員・小野委員・栗谷委員・越村委員・田渕委員  
出村委員・中上委員・中野委員・服部委員・原田（久仁彦）委員・原田（恵子）委員  
原田（照久）委員・飛田委員・平田委員・山本委員

出席18人／定数27人

（市会議員）

足高議員・金子議員

（天王寺区役所）

西山区長・吉村副区長・川畠企画総務課長・佐藤事業戦略担当課長  
小峠危機管理課長・森（茂樹）市民協働課長・北吉未来人材育成担当課長  
加守田窓口サービス課長・大島保健福祉課長・樋上保健・生活支援担当課長  
森（亮一）企画総務課長代理・尾古貴区民の声集約担当課長代理・渡邊危機管理課長代理  
岩上地域活動支援担当課長代理・平山福祉担当課長代理

## ○佐藤事業戦略担当課長

定刻がまいりましたので、ただいまより、平成29年度第1回天王寺区区政会議（合同会議）を開催させていただきます。

私、天王寺区役所事業戦略担当課長の佐藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、本日の配布資料についてご確認をお願いいたします。お手元の配布目録のほうをごらんくださいませ。配布目録のほうと比べていただきまして、不足している資料等あれば、お声がけください。不足の資料はございませんでしょうか。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

まず初めに、西山区長よりご挨拶申し上げます。

## ○西山区長

皆さん、こんばんは。区長の西山でございます。本日はお忙しい中、また、きょうはとっても暑いです。暑期中、おいでいただきまして、誠にありがとうございます。また、平素から区政運営に多大なご尽力といたしますか、ご協力いただいておりますこと、この場をお借りいたしまして、お礼申し上げます。ありがとうございます。

私、昨年4月に区長に就任させていただきまして、もうはや2年目を迎えております。この間、区政会議におきまして、皆様方と意見交換をさせていただきながら、施策事業について見直せるところは見直し、改善すべきところは改善するという姿勢で取り組んでまいりました。

本日の今、お配りしております参考資料の最後に添付しておりますこの「天王寺区将来ビジョン」、これは前回の区政会議でのご意見をお受けいたしまして、今年度からの5カ年を見据えて新たに策定いたしました。策定に当たりまして、委員の皆さんには大変貴重なご意見をいただきましたことを重ねてお礼を申し上げます。

新たなビジョンに基づく区役所の取組は、各年度の区運営方針に反映し、具体化しております。成果目標を定めまして、しっかりとPD“L”CAを回しながら取り組んでまいりますので、引き続きのご支援、また、厳しいご意見をいただけますようによろしくをお願いいたします。

本日の議題ですけれども、平成28年度天王寺区運営方針の実績・評価について。それと、今後取り組

むべき事業についてのグループ討議を予定してございます。さまざまなお立場から厳しいご意見も含めまして、多様なご意見をいただき、今後の区政に生かしてまいる所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

あと、いろんなところで言っているのですけども、大阪市、今、2025年の万博誘致に向けまして、機運の盛り上げに取り組んでおります。皆様方のご協力をいただければと思っておりますので、合わせてよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではございますけども、私からのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

次に、両議長よりご挨拶をいただきます。小野議長様、よろしくお願いいたします。

#### ○小野議長

皆さん、こんばんは。議長の小野でございます。本日は暑い中、ご出席いただき、本当にありがとうございます。皆さんもご承知のとおり、区政会議の委員は地域団体ですばらしい活動をしていらっしゃるメンバーの皆さんばかりでございまして、公募によるメンバーがあり、また、年代も多岐にわたっております。この会議では皆さん、これまでの活動等、さまざまな経験やお知恵をもとに、区政に関する多様なご意見をいただき、区役所にはこれまで以上によりよい取組をしていただきたいと考えております。

なお、議事進行に当たりましては、栗谷議長にお願いし、私からのご挨拶とさせていただきます。最後までどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございました。引き続きまして、栗谷議長様、ご挨拶のほうをお願いいたします。

#### ○栗谷議長

皆さん、こんばんは。区政戦略会議の議長をしております栗谷と申します。本日もお暑い中、たくさんの皆様にご参加いただきまして、ありがとうございます。

6月末より愛染まつりから始まり、きのうが天神祭と、本当に一番暑い、ことしの大阪かなと思って

おります。

いろいろ大阪市様より総合区とかいろんな提案をいただいて、今後行く先、天王寺区はどうなっていくのかなという、私もすごく不透明なところもあるんですけども、やはり私たち住んでる方々の意見が、一番がこれからも重要だと思っておりますので、どうかこれからも天王寺区のために、本日も皆様の本当に生の声を一番大事にしていきたいと思っておりますので、どうぞ本日もご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございました。議題に入ります前に報告事項がございます。まず、本日出席の委員ですが、配席図のとおりとなっております。個別のご紹介は割愛させていただいておりますので、配席図のほうをご参照くださいませ。次に、欠席のご連絡をいただいている委員につきまして、ご報告申し上げます。朝倉委員、河村委員、湖東委員、酒井委員、眞野委員、南委員の6名様につきましては、欠席のご連絡をいただいております。

また、本日の区政会議には、大変お忙しい中、足高議員、金子議員にご出席をいただいております。本当にありがとうございます。本日も審議の最後にご助言、ご意見等いただけますようお願い申し上げます。

また、本年4月より副区長に異動がございまして、吉村副区長が着任しておりますので、ご紹介いたします。

#### ○吉村副区長

副区長の吉村です。よろしくお願いいたします。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

引き続き、留意事項についてでございます。本会議は公開となっております。会場内、カメラ撮影は議事の全てを対象とさせていただきますことをご了承願います。また、本日の会議は傍聴の方がおられますので、ご発言の際にはマイクのほうをお持ちいただいて、傍聴の方にもお声が通るように大きな声で発言をいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

また、本日の区政会議の様子は広報紙であるとかホームページ等で情報発信をまいりますので、

会議中、何枚か写真を撮らせていただきますことをご了承いただきますよう、お願いいたします。

それでは、ここからの議事進行を栗谷議長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

#### ○栗谷議長

それでは、本日は皆様のご協力のもと、会議が有意義なものとなりますよう進めてまいりますので、皆様のご協力を改めてよろしくお願い申し上げます。

初めに、本日の流れをご説明させていただきます。議題1につきましては、質疑応答を含めまして、午後8時までを予定しております。議題2はグループ討議でございます。机の配置も変えて、8時過ぎから8時40分までのグループ討議とさせていただきます。その後、討議で出された意見を報告。その後、区長様よりコメントをいただきます。引き続き、8時50分より市会議員の足高先生、金子先生よりご助言、ご意見をいただきますことを考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

皆様のご意見、ご協力のほう、よろしくお願いいたします。それでは、議題1につきまして、資料、「平成28年度天王寺区運営方針の実績・評価について」に従って説明いたします。なお、参考資料1、2は説明を予定しておりませんが、議題1及び2の討議において参考にしていただければと思います。

それでは、西山区長、佐藤課長、よろしくお願い申し上げます。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

佐藤でございます。それでは、お手元、パワーポイントでつくっておりますこの横長の資料、「平成28年度天王寺区運営方針の実績・評価について」、こちらの資料をもとに議事のほうを進めさせていただきます。

まず、区の目標でございます。平成28年度までは旧の改正前の将来ビジョンということで、記載のとおり、区の目標としましては、「みんなの「思い」が区政に反映されているまち」、「未来を担う人材が育成されているまち」、「命を守る政策」がしっかりと進められているまち」、「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」となっております。以上の実現をめざした平成28年度の取組、そして、区役所としての自己評価をあわせて報告させていただきます。

表の見方でございますけれども、経営課題1から6までについて、主な取組とその取組の結果、達成したアウトカムにつきまして、記載をさせていただいております。達成状況につきましては、上段の表、

右端に記載をさせていただいておりまして、括弧内は平成27年度の数値となっておりますので、参照くださいませ。

それでは、経営課題1「区民の声集約プロセスの強化」についてでございます。「みんなの「思い」が区政に反映されているまち」は、当区の一番のミッションであると考えております。具体的取組としては、多様な方法で意見をお聞きし、それを事業施策に反映していくということで、区政会議、区民モニター、あなたの声をつなげ隊を通じて、区民の皆さんの声を集約し、区政に反映することに注力してまいりました。区政会議は2回、モニターについては計3回、つなげ隊の意見聴取は随時実施させていただきまして、2,000人を超える方から意見をいただきました

また、区政運営の見える化を意識した情報発信の強化ということで、広報紙において区民の声の反映状況の特集号を2回、区民の声の反映事例についても広報板に掲出、その他ホームページ等で情報発信を重ねてきたところです。

こうした取組の結果、アウトカムの目標としては、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合が、目標60%となっているところですが、達成状況としては、おおむね半分の33.4%、平成27年度よりも2ポイント程度下がったという結果となっております。

次のページにまいります。次は、「区民に身近な総合行政の拠点、安心・安全を担う総合拠点としての区役所づくり」でございます。こちらにつきましては、総合窓口機能の充実や、安心・安全の拠点づくりの推進ということで、市民の声等を聴取した意見の結果、市の見解につきましてホームページに公開してまいりました。また、日常的に工営所や消防署、警察等々、関係機関と緊密な連絡体制をとりまして、市民の方からのご要望や苦情等があった場合にも適切に対応してまいりました。その結果、過去1年間に区役所に日常生活に関する相談を行った区民のうち、区役所が適切に対応したと思う区民の割合については、80%以上の目標に対して、おおむね9割以上の達成水準となっております73.6%ということで、比較的高い評価をいただいております。

また、改革を担い支える職員づくり人材マネジメントということで、我々職員のスキルアップというところをめざしまして、人材マネジメントに係る基本方針その他取組を推進してまいりました。その中では、職員力向上プランにおける職員塾の開催を5回、テーマごとに勉強会を開催し、スキルアップを

図っております。また、全職員と区長が、「区長と職員の意見交換会」を行っており、一番末端の職員まで区長に意見を言える風通しのよい風土づくりをめざしております。これをもとにつくりました「やります天王寺区職員！１００の取組！」を構築し、それに沿って取組を進めているところでございます。

こうした結果もございまして、区役所を過去１年に訪れた区民が、来庁者への案内サービス、窓口での対応がよいと感じた区民の割合ということで、８０％以上の目標に対しまして、８２．５％と目標を上回るご評価をいただいております。

以上、経営課題１の評価としましては、区政会議ですとか、つなげ隊であるとか、積極的な活用により、区民の意見聴取に取り組みながら、PD“L”CAをきっちり回してきたという取組の方向性としては、いろいろしてきたわけでございますけれども、アウトカムにつきましては、目標値の５割を下回ったということで、依然として伸び悩んでおりますので、引き続き、区民の声というのを施策にどのように反映しているのか、見える化を意識した情報発信をより一層強化してまいりたいと考えております。

また、高い評価をいただきました窓口対応、総合拠点としての区役所のスキルアップにつきましては、これまでの取組を定期的に実施し、拡充しながら、今後も行政職員としてのプロ意識の徹底に基づいて、不断の市民サービスの向上を図ってまいりたいと思っております。

次に、経営課題２にまいります。経営課題２は、「日本一の文教『都市』をめざした人材育成の取組」についてでございます。当区は非常に子どもといえますか、若年層の世帯が多いという地域特性がございますので、この特性に基づきまして、さまざまな社会教育機会の充実や、実践的英語プログラム、スポーツ選手による指導機会の提供など、さまざまな未来人材育成の取組を行ってまいりました。

実績としましては、インターンシップへの参加、ジュニアクラブなどのボランティア活動、英語ディベートスクール成果発表会、また、昨年度から実施した小学生向けの英語体験活動、レジェンド・イン・ハイスクールといまして、元プロ選手からクラブの活動の指導をいただくような取組、こうした取組を実施してまいりました。

代表的なアウトカムとしましては、英語ディベートスクールの参加者の満足度というところでとらしていただいておりますけれども、目標の９０％に対して、参加者の全ての方が満足だと、役に立つというご意見をいただいております。

次に、「地域の未来を担う人材の育成」ということで、主に子育て支援の部分でございます。子育ての部分につきましては、子どもの将来のための投資促進や、子育て情報の発信、子育て層への交流機会の提供など、また、大阪市としても喫緊の課題でございます保育所待機児童の解消等をめざして、さまざまな取組を進めてまいりました。

子育てスタート応援事業は4年目を迎えており、利用率のほうも、人数ベースではございますけれども7割を超えるなど、堅調な伸びを見せておるところでございます。

また、子育て情報アプリ「ぎゅっと！」のダウンロード数は、2,300件近く。子育て情報博覧会も参加者は190世帯ということで、毎年、参加者が伸びておるのかなと認識しております。

一方で待機児童の解消という点では、残念ながら、平成28年4月に27人であったところ、平成29年の頭には1名減っているのみということで、やはり26名の方が待機という状況になっております。

1カ所の開設はあったものの、まだまだ待機児童の解消にはちょっと至らないという状況でございます。

以上のような取組の結果、重点目標として掲げております子育てに必要な情報を必要なときに得ることができていると感じる子育て層の割合につきましては、目標80%のところ、97%というご意見をいただきました。昨年度に比べまして非常に大きく伸びておる要因としましては、実はアンケートの対象者が若干違っております。62.6%のときには、子育て情報アプリ「ぎゅっと！」の情報量に対する満足度というような形で聴取をさせていただいたんですが、今回は子育て情報博覧会に参加いただいた方のアンケートで、必要な情報を的確に得ることができてますかという、実際にイベントに来てくださった方にアンケートを実施させていただきました。

結果として、少しアンケートの実施方法が変わったところも伸びている要因かなとは思いますが、参加者の皆さんには大変満足いただけたのかなというふうに認識しております。

次のページにまいりまして、以上、経営課題2の総括といたしましては、子どもの将来のための投資促進となるよう実施している子育てスタート応援事業につきましては、利用率の向上を図りながら、事業検証を行いつつ、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

また、未来を担う人材育成に関する各事業は、順調に実施できておりますし、参加者の満足度も非常

に高いものがございます。ただし、参加希望者のみならず、こうした取組を区内の児童・生徒に広く裾野を広げるためには、学校教育との連携により、一層効果的に進めていく必要があると認識しておりますので、校長経営戦略予算などを活用しながら、裾野の拡大に取り組んでまいりたいと考えております。

次、経営課題の3にまいります。「お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉」ということで、主な取組としましては、独居高齢者の見守り支援事業や、見守りサポーター事業、また、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業を実施してまいりました。前記の見守りサポーター事業では、新規世帯に対して意向調査をした結果、28世帯が見守り希望ということでありましたので、全310世帯を訪問いたしております。また、要援護者の見守りネットワーク強化事業におきましては、要支援者の同意確認、1,217名に対して行いまして、581名の方が情報提供に同意をいただいたということになっております。

こうした取組を続けながら、見守り体制が構築されているかという設問をしたわけですが、実感されている区民の割合は80%の目標に対して、39%とやはりちょっと伸び悩んでおるのかなというふうに認識しております。

今後も増加が見込まれる独居高齢者につきましては、急病時、災害時の孤立化や孤独死等が懸念される一方で、見守りネットワーク強化事業の展開などで希望者を対象に、地域による平時の見守り体制を構築していただくなど、そちらに関しては非常に着実に構築されつつあるのかなと認識しております。そのためには、この事業に対する理解というのを一層深めていただく必要があるのかなと思っておりますので、当該事業の周知を図るとともに、事業対象者を重度の知的障がい者の方、精神障がいの方々に拡大しまして、地域との連携を深めながら、平時、災害時の避難支援活動に取り組みながら、1人1人の命を守り抜く地域福祉というのをめざしてまいりたいと考えております。

次のページにまいります。防災、防犯の側面でございます。「より多くの人の「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求」ということで、まず、「減災のための取組の強化（事前の備え）」についてでございます。

具体的取組としましては、出前講座であるとか、広報紙8月特集号などで災害対策情報の発信、防災啓発等を積極的に実施してまいりました。特に個々のマンションへの啓発ということで、天王寺区内は

非常にマンションが多くございますので、6階以上の分譲マンション100棟に関して、個々のマンションの啓発を行うなど、取組を進めてきたところでございます。

その結果、アウトカム、いずれも重点目標としている分につきましては、災害時の非常持ち出し品の用意率、目標70%に対して5ポイント改善いたしまして、42.8%のご家庭で常備しているというご回答でございました。一方、家具の固定率のほうは、目標世帯70%に対して、ややポイント下げながらも横ばいという状況でございます。

次に、「減災のための取組の強化」ということで、先ほどは被災前の備えですけれども、今度は被災後の備えでございます。マンションでの被災生活の支援、防災拠点の充実、災害時避難行動要支援者支援体制の構築による減災のための取組の強化ということで、具体的には、マンション防災ということで、マンションの管理組合の方などに集まっていただきまして、マンション防災専用の勉強会を実施させていただきました。34マンションが参加していただき、盛況のうちに第1回目を終えることができました。

また、個々のマンションにおいて防災対策推進の働きかけを行いました。全体会1回、23マンション各1回、自主的な防災対策の組織化というものを求めるような取組を実施してまいりました。

その他、防災拠点の充実としましては、区独自の備蓄物資の配備であるとか、福祉避難所の追加、また、生玉寺町の寺院の皆様にご協力いただきまして、一時避難所の場所を確保させていただくなど、これまでにはない取組を進めてくることができたのかなと考えております。

また、個別支援プランの作成には、全地域で着手に至ったということです。アウトカムといたしましては、災害時避難所の場所を知っている区民の割合ということで、目標の9割に対しまして達成状況は82%と、一昨年よりもやや下がっているということで、地道な取組が必要であると認識しております。

次に、子どもの安心・安全の確保でございます。子どもが被害に遭わないための取組ということで、まずは子ども安全教室の実施であるとか、安全教室の出前講座を区内の各小学校で実施させていただいております。また、防犯カメラは昨年度も25台増設させていただきまして、平成25年度から累計75台、本年度も25台増設の予定でございます。

また、別途、これは市施策ではございますけれども、公園内にも見守り用のカメラが11台設置され

ているというところで、抑止力といった意味での防犯カメラというものが引き続き大切なのかなと思っております。

こうした結果、子どもの安全が守られていると思われる区民の割合ということで、80%を目標にしていたわけですが、63.3%と取組の進捗に対してちょっと実感が伸びていないという結果になっております。

次のページにまいります。次に、「だれもが安全で安心して通行できる道路の確保」ということで、区内鉄道駅中心の放置自転車台数を目標としまして、これらの削減に向けた取組を実施しております。ゆめまちロード、地域の皆さんにご協力いただいて実施しております。寺田町駅で2回実施させていただきました。また、工営所などと連携しながら、放置自転車の即時撤去を記載のとおり行いまして、100台を平成32年度の目標として掲げておったわけですが、一昨年よりも大幅に減ということで、93台ということで、100台を切ったという達成状況でございます。

経営課題4の総括としましては、減災のための取組において順調に推移してないアウトカムももちろんございますけれども、区内85%を占める共同住宅での防災対策に向け、新たな取組を始めるといったことで、区民の自助・共助力の向上が図られるものと認識しております。

子どものための安心・安全の確保については、取組の進捗にもかかわらず、アウトカムが順調に推移してないことから、今後も啓発とともに情報発信をさらに進めてまいりたいと思っております。

放置自転車の取組については、アウトカムは順調に推移しておりますけれども、一方で自転車マナーの向上という面については、芳しくない状況でございますので、今後、自転車をたくさん使われる世代ということで、子育て世帯を対象に重点的な啓発を進めて、子どもさんたちがまずは自転車に乗るときにマナーを向上し、それを見守る親御さんたちもマナー向上に取り組むといったようなところから着実に進めてまいりたいと考えております。

次のページにまいります。「戦略的なシティ・プロモーションの推進」でございます。一昨年、真田幸村博を皆様の協力によって、大きく区も関与しながら実施したわけですが、昨年も観光協議会さんとの共催によって、民主体の活動などを進めてまいりました。

また、ごらんいただいているかとは思いますが、そちらにも記載させていただいてます「てんの

うじ」という天王寺区のPRポスター、そういったものもつくりながら、内外から人を呼び込む取組、情報発信にシフトしながら、引き続き取り組んでいるところでございます。

民主体での機運が幸村博を通じて、ちょうど醸成されてまいりましたので、それをPRであるとか、情報発信の部分から区がサポートするというような形で進めてまいりました。その結果、天王寺区の魅力発信・観光振興が十分にできていると感じる区民の割合は、70%以上の目標に対して67.0%と、やや下回ってはおりますけれども、非常によい評価をいただいておりますのかなと認識しております。

総括としましては、天王寺区の有する豊富な歴史的・文化的資産を生かして、区の魅力を内外に発信するために、大河ドラマを契機に「真田幸村めぐルート」、そういった整備を行ってきました。そういったものを活用しながら、さらなる情報発信に努めるとともに、民主体の活動というのを引き続き積極的にサポートしてまいりたいと考えております。

また、熊野古道でありますとか、平成33年に没後1400年を迎える聖徳太子など、歴史・文化遺産を生かしながら、さらなる魅力発信に努めてまいりたいと思っております。

経営課題6の最後の課題にまいります。「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」ということで、さまざまな取組を実施してまいりました。こちらが各区共通して取り組んでいる目標でございます。まず、声かけ、見守り、助け合い、支え合いを実感いただけるように、人と人とのつながりづくりの促進を図るため、地域の見守り活動取組の紹介とアンケートの実施などを行ってまいりました。

目標としては、今年度までに65%以上ということだったんですが、達成状況としては46.3%、一昨年よりも下がってしまいましたという結果になっております。参考に全区平均のほうも書いておりますけれども、全区平均よりもやや下回っているということになっております。

次に、多様な主体の協働（マルチパートナーシップ）ということで、地域活動協議会を核とした自律した地域運営、校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充を図るための支援としまして、積極的に公金の使途の公表であるとか、会計説明会を実施し、地域活動協議会の活動に関する情報発信、校区などを越えたまちづくりに関する活動をホームページに掲載するなど、情報発信を中心に取り組んでまいりました。これに対してアウトカムが、校区等地域において、さまざまな活動主体が協働して、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合、地域活動協議会を知ってる方の範囲でお聞きい

たしましたところ、こちらに関しては81.3%、おおむね全区平均よりも1ポイント上回っているという状況になっております。

次のページにまいります。次に、社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数を目標とした取組ですけれども、地域資源の循環です。こちらが、地域資源が活用されやすい仕組みづくりと、地域資源の循環によって持続的な地域活動の促進が図られるための基盤づくり、また、本市事務事業の社会ビジネス化の推進の取組を行ってまいりました。

地域や社会に存在する資源に関する情報をホームページに公開させていただくとともに、地域活動協議会に対して、天王寺区まちづくりセンターを活用しながら、コミュニティ・ビジネスなどの意義やメリット、そういったものを紹介させていただくなどした結果、社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業の件数としては1件以上となっておりますけれども、地域の皆様のご協力によりまして、当区では継続して5件実施できております。

具体的には、公園等の清掃・除草等の活動が4件、ゆめまちロード、JR寺田町駅周辺の放置自転車対策が1件ということで、地域の皆様のご協力なしには実施できないということになっております。

次に、「地域公共人材の充実と中間支援機能の活用」ということで、こちらに関しましては、地域公共人材の充実及び活用の促進ということと、中間支援組織の効果的な活用をめざして取り組んでまいりました。区ホームページに地域公共人材に関する情報や検索するサイトなどのリンクを張っております。また、地域活動協議会に対して、地域公共人材の役割をご紹介するなどしております。

また、中間支援組織に関しましては、9地域を支援するなど取組を進めてまいりました。これに対して、多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じる活動主体の割合としては、今年度は目標が90%以上に対して80.9%ということになっております。前年度からやや下がっておりますのは、少しアンケートの母数が今年度のほうがふえているというような状況もございまして、結果として下がってしまった。私どもとしてもその効果が実感いただけるように引き続き取り組んでまいる必要があるのかなと思っております。

次のページをごらんくださいませ。各地域の代表的な活動を紹介させていただいてます。9地域のさまざまな活動のおかげで、地域の活性化が図られているのかなというふうに実感しているところなのです。

で、ぜひご参照ください。

経営課題6の総括としましては、活力ある地域社会づくりに向けて、さまざまな地域活動とその担い手等を情報発信してまいりました。そういった情報発信の強化につきましては、一定寄与することができたのかなと思っております。一方で、さまざまな活動主体の連携や協働といった地域公共人材が活躍していると感じている区民の割合というのは、非常に低くとどまっている状況ですので、現状としては乖離が大きい状況でございます。少しでもこういった乖離を埋めるように、さまざまな活動主体の連携・協働による活動事例について、もっと掘り下げた広報を行っていくなど、取組の見直しが必要なのかなというふうに感じております。

広報紙等で地域活動協議会ですとか、それを構成するさまざまな団体の活動などを4月から少し視点を変えて紹介するなどして取り組んでおります。区民の皆さんに広く知っていただけるような引き続きの努力が必要であると認識しております。

個別の総括については以上でございます。

## ○西山区长

それでは、私のほうからまとめということで自己評価結果の総括を説明させていただきます。

この1年間、「みんなの「思い」が区政に反映されているまち」をめざしまして、区政会議、あなたの声をつなげ隊を中心に、区民の意見を積極的に聴取・集約いたしまして、施策展開あるいは予算に反映させることができました。

具体的には、次のページですけれども、子育て施策といたしまして、子育てスタート応援事業は4年目を迎えました。利用率は堅調に推移しておりますが、さらなる利用率の向上が課題です。検証しながら、利用促進に取り組んでまいりたいと思っております。

また、喫緊の課題となっております待機児童対策につきましては、全市的な取組と連携しながら、区内の未利用地などを優先的に保育所整備に活用することなどによりまして、来年、平成30年4月時点の待機児童ゼロをめざしてまいりたいと考えております。

めくっていただきまして、防災の関係でございますが、共同住宅での防災対策を促進するために、管理組合等を対象としました学習会を初めて開催いたしました。今後は個別のマンションへの具体的支援

に取り組んでまいりたいと考えております。

シティ・プロモーションにおきましては、民間主体で実施しました真田幸村博など、今後は周辺区等とも連携しながら、区の重要な資産であります熊野街道あるいは聖徳太子などの歴史・文化資産を生かしながら、住民主体の取組をサポートするという立場で多くの人が集い、にぎわいと活力あふれるまちの創出をめざしてまいりたいと考えております。

次のページですが、区民の安全・安心の確保は、やはり最重要課題でございます。しかしながら、阪神・淡路大震災あるいは東日本大震災からの時間の経過によります防災減災への関心の低下によりまして、災害時の持ち出し品の用意率ですとか、家具の固定率は、依然として目標を大きく下回っております。

めくっていただきまして、「命を守る」自助、共助力の向上は喫緊の課題であります。今後も注力して取り組んでまいります。それと、医療機関、寺院など、これまで比較的連携の薄かった新たな地域資源との連携によりまして、地域の力を結集いたしまして、防災力の向上に重点的に取り組んでまいりたいと思っております。また、見守り支援体制の構築を通じて、緊急時にも助け合える地域のつながりづくりに取り組むなど、安心して暮らせる、住みたい天王寺をめざしてまいりたいと思っております。

最後ですけれども、下寺町地域の交通手段、高低差の高い地域でございます。これまで民間事業者とも話をさせていただきまして、このたび、民間事業者との共同実施によります下寺町を経由するバス運行事業を、この7月から新たに構築してまいりました。以上でございます。

## ○栗谷議長

西山区長、佐藤課長様、ありがとうございました。

それでは、ただいまご説明いただきました中でご意見、ご質問をお願いいたします。発言される方は挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。せっかくの機会ですので、どんなことでも結構ですけれども。じゃ、飛田委員、よろしくお願いします。

## ○飛田委員

飛田です。質問は経営戦略の1－1なんですけど、区政運営について区民の意見や要望を反映してると思うというのが、平成29年度まで60%以上となってるんですけど、実際こんなん、構成も違うし、

考えてることも違うのに、6割の人が反映してると思うみたいになると、すごい怖いことじゃないかなと。

逆にこれは目標が高過ぎて、区の平均を見ても大体3分の1ぐらいですし、人口の割合を見ても、未成年の人を除くと、大体お年寄りとか年代別で見ても大体3分の1なので、どう考えても行っても4割かなと。なぜこれは60%以上なんてすごい、みんながそんな思えるようにというように目標を決められたのか、ちょっとお聞きしたいんですけど。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございます。こちらは区政運営基本方針に定められている数値を目標にしまして、自律した自治体型区政運営ということで、全市共通で定められた目標値でございます。

ご指摘のとおり、6割を超えている区はございません。そういう意味でいいますと、かなりハードルが高いのかなと思うんですけども、やはり区民の皆さんの満足度が少しでも上がって、願い事が叶うというふうに実感いただく指標ということで、設けられたものなのかなというふうに認識しております。

目標値としてはご指摘のとおり、かなり高いものでございますけれども、区政運営の基本方針、平成29年度まで継続ということで聞いております。この方針が我々の目標値として掲げられている間は、それに向かって少し頑張らないといけないのかなとも思っております。

ただ、実際にそれぞれいろんなお立場の方がいて、4割が精いっぱいじゃないのかなというご意見をいただけますと、私ども、なかなかこれって上がってこないなと日々取組を行いながら四苦八苦してるわけでございますけれども、少しうれしいお言葉なのかなと。4割少しでも超えるように頑張ってみりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

#### ○栗谷議長

その他、いかがでしょうか。じゃ、原田委員、お願いします。

#### ○原田照久委員

この達成状況の数字についてなんですけども、1つには極端な100%とかそういう数字もあるんですね。これはいろんなモニタリングのやり方等関係あると思うんですけども、例えば経営課題の3「お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉」、非常に重要視されてる項目だと思うんですけども、こ

ういう項目につきましては、いわゆる目標値が非常に高い中で数値が下がってきてると、毎年ですね。例えば去年が48%、ことし39%。じゃ、おとしはどうだったかとちょっと見てみますと、59%なんですね。毎年下がっていくというのは非常に寂しいことなんで、達成の比率はともかくとしても、少しずつ上がっていくと。目標に近づいていくというのが、本当にやっているという成果、いわゆるアウトカムじゃないかなというふうに思いますので、ほかにもいわゆる下がっていった項目が結構あるんですよ。そこら辺についてはどういうふうに考えたらいいいんですかね。

#### ○西山区長

ありがとうございます。この達成度調査、毎年、無作為抽出でやっておりますので、その辺も原因の1つなのかなと思っております。それと、高齢者の方を対象にした調査にはなっておりません。全区民対象になっておりますので、なかなか見えにくいところもあるのかなと。その辺は見えるようにしていきたい、いく方法は何があるのかというのは我々考えていかなあかんと思います。

ただ、具体的取組を見ていただけますように、着実に見守り件数というか、世帯数をふやしていております。この地道な取組をすることによって、もっともっとネットワークというか、広げていきたいなというふうに考えております。

#### ○原田照久委員

達成状況につきましては、ちょっとこの数値だけで判断はできない部分、当然あると思うんですけども、ちょっと過去からの推移といいますか、アウトカムの件数とかそういうものを見ると、やっぱり下がっていったのは問題だなというふうに思います。すいません、ありがとうございます。

#### ○西山区長

すいません。そのあたりにつきましては、もうちょっと分析させてもらおうかなと思ってますので、よろしくお願いします。

#### ○栗谷議長

その他、いかがでしょうか。なければ、私からちょっと一言、意見をお願いしたいんですけども、シティ・プロモーションの部分で、真田幸村博、すごく好評で、天王寺をすごく有名にさせていただいたと思うんですけども、今度、聖徳太子等もあると思いますけども、やはりこの日本の天王寺の文教地区

という1つに力をそそいでいただいた、天王寺から生まれた作家の織田作之助さんとか、そういう生玉地区で生まれて、生家も谷町筋のヨシケンという会社の前にあったという、学校の先生からも教えていただいたことがあったんですけども、やはりそういう歴史のある有名な人が天王寺にいたということを、僕はもっと発信できればいいかなと思うんですね。

学校の先生にいろいろ案内していただいて、銅像も生國魂神社の中にひっそりとあるんですけども、もっともっとうこういう立派な人がいて、京都大学を出て、日本の作家、文学の礎になったというのを、もっともっと発信いただければ、天王寺という文教のところの発信というのをもっとしていただければありがたいと思いますけども、いかがでしょうか。

#### ○西山区長

たしかにおっしゃるとおり、非常にたくさんの歴史的・文化的資産が天王寺にあります。非常にありがたいことなので、できればいろんな方面で手を広げてやっていきたいと思ってます。実際、まち歩きなんかでも天王寺の観光ボランティアガイド協議会の皆さんなどのご協力を得まして、さまざまなルートを説明つきで回っていただいているというのも、どんどん裾野が広がってきております。そういういろいろな手法を通じまして、大きいものは大きく打ち出す、地道に行くものは地道に広げていくというような多様な手法で取り組んでまいりたいというふうに考えてますので、よろしくお願いいたします。

#### ○栗谷議長

ほか。じゃ、一本松委員、よろしくお願いいたします。

#### ○一本松委員

私は聖和地区に住んでるんですが、子どもの将来のための待機児童をなくすということで、聖和地区に保育所が、80人単位のが2つできるといって喜んでたんですが、今、1つのところが自転車の置き場がないとか、送り迎えに車が来たときにどうするかとか、そういうことでちょっともめてるんですけど、そういうときに市の方が入っていただいて、そういうときの差配をしますよとか、そういうことはできないもんなんじゃないかな。何かちょっと進みが遅いので、1件はスムーズに進んでるんですが、ちょっと介入していただいたら、住民との間を上手に取り持っていただいたらというようなことを思っております。

## ○西山区長

その件については私どもも伺っております。基本的に第一義的には事業者が建設する施設ですので、主体は事業者でございます。ただ、良好な環境をつくっていくという意味で、私どももこども青少年局と相談を今しております。ただ、公募手続自体はこども青少年局が全市統一的なルールでやっておりますので、我々も当然サポートはしますけども、まずはこども青少年局と事業者が話をして、今後どう進めていくかというのを今やっているというふうに伺っております。もうちょっとお待ちください。

## ○一本松委員

ありがとうございます。よろしくお願いします。

## ○西山区長

はい。

## ○江畑委員

夕陽の会の江畑と申します。五条グラウンドの西側ですよね。市の公設市場の跡地に何か子どもたち、保育所とかそういう待機児童が多いので、できるという話を聞いてるんですけども、実際にどうなってるんでしょうかと聞きたいんですけども。

## ○西山区長

ご指摘の五条の公設市場の跡地は、平成14年から市場が閉鎖になりましてから、何に使うかということで、いろいろ手をこまねいていたというふうに聞いております。

実際あの土地、調べてみますと、今まで境界が確定しなかったとか、地下に埋蔵文化財があるみたいな感じで出てきてます。ただ、そのままほっとくのはもったいないということで、いろいろ関係局とも我々主体的に相談いたしまして、まず、先ほど一本松さんからありましたけども、天王寺区の中に保育所をつくる場所がないんです。ですから、待機児童が発生してきているということもございまして、将来的に何に使うかというのはそのときにまた今後考えれるんですけども、まず、当面の課題として待機児童の解消をめざしていこうということで、保育所をつくらしていただきたいということで、今、進めております。できれば、来年の4月の開設に向けてやってまいりたいと我々は考えております。よろしくお願いします。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

1点補足でございますけれども、今後、未利用地を活用して、市有財産は保育所の整備に優先的に活用しながらというのが、市長方針として出されております。それに基づいて、各区でも、幾つかの候補地に対して、保育所の誘致を進めていこうじゃないかということで、今その検討の緒に就いたところでございます。実際に公募の時期がいつになるか等々につきましては、公募というか入札にかかわることもございますので、あんまり詳しいことを申せない状況ですけれども、区としても待機児童の状況というのは非常に深刻だなというふうに考えておりますので、そういった市有財産の活用を念頭にいろいろ進めてまいる必要があるのかなと認識しております。

#### ○栗谷議長

出水委員、お願いします。

#### ○出水委員

戦略6-4のところでちょっとお伺いしたいんですが、アウトカムのところは、多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じる活動主体の割合。ここでパーセントが出ているんですが、その具体的取組として、「地域公共人材の充実」および「活用」の促進、「中間支援組織」の効果的な活用とあるんですけれども、恐らく地域公共人材の充実というのが、このアウトカムと本当にリンクしてるのかなというのは、すごく疑問なところがあります。

何で地域公共人材がこんなに使われていないのかということも、前々からちょっと疑問だったんですが、そういった中で新しく天サポというのが、やはり地域公共人材というところよりもっと身近にいろんな人がいるんじゃないかなというところは常々思ってましたが、そこで天サポということで、本当に地域からいろんな方々に登録していただいてという事業が始まったと思うんですけれども、今、ホームページにもいろんな団体さんが登録されてるのは見るんですが、現状も含めてなんですけれども、それをどのように活用されて、今後、発展していくのかなというところをお伺いしたいと思います。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

担当課長より説明させていただきます。

#### ○川畠企画総務課長

企画総務課長の川畠と申します。天サポを担当させていただいておりますので、そちらの回答をさせていただきます。

天サポにご関心を持っていただきまして、ありがとうございます。この1月に立ち上がった制度ということで、そもそもの課題認識としましては、地域のいろんな方々が天王寺区のために働いていただいて、ご協力いただいてということで、していただいてるんですけども、多少、企業様とか団体様との連携が不足しているというか、まだまだ取り組めるのかなということで、どちらかというと、個人というよりも、企業様、団体様との連携協力関係をさらに向上させようということで取り組んでおるところでして、現在30者30団体ほどが登録いただいて、既に広報協力でありますとか、デザインのほうをつくっていただいているところでありますとか、こども110番の運営の関係を、ちょっと話をさせていただいてるところであるとか、いろいろな取組はスタートしておりますので、さらにそういった取組を発展させるという意味で、まだ十分周知もできておらない部分もありますので、まず周知に努めつつ、いろんな連携ということでご協力させていただきたいなというふうに考えておるところです。以上です。

#### ○出水委員

ありがとうございます。本当にその地域公共人材をええええというのをよく言われるんですけども、なかなか正直使い勝手が悪いというところも実際あると思います。なので、やはりそういう身近なところの人をうまく使っていただきたいというのが、私たちの思いですので、そこをぜひよろしくお願いします。

#### ○栗谷委員

ほかございませんか。では、そろそろお時間となりましたので、いろいろご意見はいただいておりますが、次に議題の2に移りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議題の2のグループの討議の趣旨及び進め方について、佐藤課長様よりご説明いたします。よろしくお願いいたします。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございます。昨年度も実施いたしました少人数でのグループ討議でございます。各列で1班、全部で3班に分かれていただきたいと思います。それぞれの列ごとに班を構成していただき

まして、少し人数にばらつきがございますので、小野議長、栗谷議長にはそれぞれ1班のほうに加わっていただくということで、ちょうど6人ずつになるのかなというふうに思っております。お願いいたします。

こちら、グループ討議につきましては、特に分野の指定というのはございません。常日ごろ気になっていること、実際の活動の中で困っていること等々、そういったものをもとに来年度に限らず、今後、天王寺区が取り組むべきこととして皆様に関心を持っていることについて、自由にご意見をいただきたいと思っております。

議員の先生方につきましては、よろしければいずれかのグループ、もしくは順次グループを回っていただいて、討議の様子をごらんいただけたらと思っております。

司会進行は1班は私、佐藤が務めます。2班は尾古貴、3班は渡邊が務めます。加えて、各担当係長が記録係を務めます。天王寺区事業一覧ボードというのをまた机上のほうに配布させていただきますので、それを参考にしながら、事業の改善に関するアイデアですとか、こんな取組したらどうかなというようなヒントをいただきまして、ホワイトボードなども活用しながら、活発な議論を進めていければと考えております。

各班での議論は、意見の取りまとめも含めて、40分程度を予定しております。グループ討議終了後は、各班で出た意見を記録係より報告、全体で共有してまいりたいと考えております。報告後、区長からもコメントをいただく予定にしておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、少し機の配置等を変えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(グループ討議)

#### ○佐藤事業戦略担当課長

それでは、各班のほうから発表をしてまいりたいと思います。まずは、各班記録係より発表させていただきます。1班、大槻係長、お願いします。

#### ○大槻係長

1班の記録係を務めました大槻と申します。私のほうから、1班で言っていたいただきましたご意見のほうをご紹介させていただきたいと思います。

まず、小野議長から、見守り活動で問題のあった方がおり、その方は地域で歴代役をしてたということとで、防げなかったのかなというご意見をいただきました。

あと、栗谷議長のほうからは、防犯カメラの増設をもっと引き続きしていかなければいけないのではないかという意見をいただきました。

石川委員からは、区の雰囲気各課よくなっている。ここ三、四年で目に見えて感じているという温かいご意見をいただいております。つなげ隊などが効いてるのではないかという意見をいただきました。

また、栗谷議長からは、健診など、いろんなサービスがあるのにそれが知られていないというご意見がありました。マイナンバーカードを取りに行くといったときに、区役所で日曜開庁しているのをもっと発信したら、もっと区民と役所が近くなるのではないかというご意見をいただきました。

一本松委員からは、お母さん方が友達になりましたら、情報がどんどん広がっていくと。そういった情報を仕入れたいという方が多いので、そこにもっと情報発信をしていったらいいのではないかなと。働いてる方はなかなか忙しいので、保育所の問題も解決といいますか、進めていかないといけないという意見をいただいております。

あと、石川委員から、食事サービス、ふれあい喫茶などで、社協さんがちょっと目立っているのではないかと、区役所ももっと関わっていったらという意見もありました。

小野議長からは、まずは町会に入っていて、そういった地域の活動を広く知って参加してもらえたらというご意見もありました。

一本松委員からは、そういった場に区の人に来て、情報発信をしているという意見もいただいております。

一本松委員から、英会話講座に300万円使ってるということで、効率が上がってるのかを聞きたいというお話をいただいたんですが、その中で、石川委員からは、若い人に力を入れるのはいいことじゃないかというご意見をいただいております。

出水委員から、防災に関心があって、地域の取組とかにも行くんですが、なかなかちょっと敷居が高くて、行ってみたら、どこの町会からですかというようなことを言われたりだとか、そういった敷居が

もうちょっと低くなればいいのかというご意見をいただいております。何回か関わってこれた上で、若い人向けの防災講座とかもすると人が集まってくれるということなので、そういったところで地域と連携できればというご意見をいただきました。

江畑委員から、健康に興味があつて、女の方は高齢になっても外に出る機会が多くて友達ができるんですが、男の人はなかなかそういった機会がないということで、憩の家とかそういったものを活用して何かできたらいいのではないかというご意見をいただいております。

江畑委員から、あと、都構想など今後どうなるかというのはちょっと気になるというご意見をいただきました。高齢になってきましたら、なかなか相談するにもちょっと役所が遠くなったら困るという意見をいただいております。以上、1班のご紹介をさせていただきました。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

続いて、2班、山中係長よりご意見をご紹介します。

#### ○山中係長

引き続き、2班の意見集約の共有をさせていただきます。まず全体的な施策全般としまして、特にマンション講座の関係とかもありまして、マンションに力を入れているというお話があった中で、賃貸マンションの居住者へもそういった取組を広げていただきたいというご意見を、田淵委員からいただきました。

マンション講座への絡みもありまして、やはりマンション居住者の方、町会の加入率が非常に低いということもありますので、マンション居住者への働きも区役所のほうで力を入れていただきたいということを出村委員からいただきました。

同じく中野委員から、賃貸マンションであれば、賃貸マンション、分譲マンションにかかわらず、マンション内で役員を定めていただくなりして、特に町会との連携をとれるように、お力を入れていただきたいというご意見をいただきました。

防災関係で、家具転倒防止事業、以前ありました家具転倒防止に関して、ポスターなどで周知はいただいているんですけれども、やはり実績が余りにも少ないというご意見を出村委員からいただきまして、その中で中上委員から、ひとり暮らしの方などは特に家具の転倒防止、業者さんが取り付けに来ていた

だいても、やはり知らない人に取りつけられるのはなかなか抵抗があるということもありますので、町会であったりとか、区役所の方が同席するとか、そういった形であれば、そういう家具転倒防止がもう少し広がるんじゃないかというご意見もいただきました。

出村委員からは、防犯カメラはほかの区に比べて非常に積極的に天王寺区は取り組んでいただいているということで、非常にいいことだということでお褒めの言葉をいただいております。

そのほか、地域の活動に関して、服部委員のほうから、地域のお祭りとか、そういった地域の活動にジュニアクラブに参加されてるお子さんとかが行事に参加するようなことができないだろうかというご意見をいただいております。そういった子どもさんが参加されることによって、地域に愛着を持っていたりとか、そういうことで未来につながっていくんじゃないかというご意見をいただいております。

越村委員のほうからは、英会話講座の参加者のご質問がありまして、お答えさせていただいたところ、区の事業としてそういう形で人気があるのであれば、もう少し参加者を広げるであったりとか、英語だけでなく、ほかの分野に広げていくのは区としてはいいんじゃないだろうかというご意見もいただいております。

あと、出村委員から、各連合会館の利用料がどうも異なっているので、その辺をちょっと調査していただけないだろうかというようなご意見もいただいております。特にお葬式とかで使用料とかが会館ごとで異なっているような実態があるので、その辺のところはちょっとまた調べていただけないだろうかというご意見をいただいております。2班からは以上です。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございます。続きまして、3班、係長の前田より発表させていただきます。

#### ○前田係長

3班のほうでいただきましたご意見、ご提案をご紹介します。

まず、山本委員より、ジュニアクラブの参加者をもう少したくさん増やしたほうがいいのではないかというご意見をいただきまして、今年の新小学校4年生の参加へのお知らせや案内などが遅かったんじゃないかというご指摘をいただいております。改善策としまして、区の媒体、広報紙とか、広報板、S

NSなどを活用して、今後、周知のほうをもう少し力を入れまして、参加いただける方の充実を図って  
いってはどうかというご意見をいただきました。

教育関係続いてなんですけども、原田照久委員より、ディベートスクールを各学校で授業として取り  
組むことができないかというご意見をいただいております。こちら、昨年も同様のご提案をいただい  
ておまして、その件でディベート力、今後、国際社会、より未来を担う子どもたちにも、ディベート力  
を強化していただく必要がありますので、ぜひ区の事業ですとか、学校の授業として取り組んでもらい  
たいというご意見をいただいております。

次に、平田委員より、高齢者向けの施策や対策が早目に取り組むべき必要があるというご意見をいた  
だいております。どんどんまた高齢化社会になっていきますので、早目に取り組むことで効果的な施策  
が行えるんじゃないかというご提案をいただきました。

続きまして、原田久仁彦委員より、近所のつながりがなかなか薄れていく中で、自分が住んでいる地  
域のことを誰に聞いたらいいのかということを知らない人がいるんじゃないかということで、悩み事と  
か、なかなかすぐに区役所にまず相談に行くというのも難しいと思いますので、まず身近な方に、町会  
長さんであったり、民生委員さんであったり、こういった方をご紹介しますようなことを、区がもっと広  
報に力を入れるべきではないかというご意見をいただいております。例えば媒体としましては、広報  
紙や広報板などでそういった方をご紹介します、まず、地域で誰に聞いたらいいかというのを把握するこ  
とで、安心して生活ができるんじゃないかというご意見をいただいております。

続きまして、原田恵子委員より、7月から始まりましたあべの・上本町シャトルバス、松屋町筋経由  
のバスの件でご意見をいただいております。バスのルートが現在、松屋町筋経由南行きの一方通行という  
ことで、あべの橋まで行って100円という料金設定になっていることもございますし、なかなかタク  
シー事業を廃止して、こちらのバスルートを開始したということであれば、実際にご利用になる方の利  
便性を考えたバスルートの設定、これをまた検討してもらえないかというご意見をいただきました。

続きまして、原田恵子委員より、地元の逢坂公園の利用について、今はすぐに災害時でも避難できる  
ような状態にはなっていないので、いつ起こるかかわからない災害のためにも早く整備してほしいというご  
意見をいただいております。

飛田委員のほうから空き家対策について、こちら早目に取り組む必要なのではないかというご提案をいただいております。まずは空き家の状況、これを把握すること。で、再利用や活用すること、そういったことも検討しつつ、空き家が発生することによって、放火されたり、犯罪になったり、崩れたりということもありますので、周知や啓発を区が取り組むべきではないかということで、ご意見をいただいております。なかなか空き家対策のほうは、実際にお住まいかどうかともわからないので、空き家なのか、たまにお住まいに戻ってこられるのかということも難しいんですが、放っておくと本当にいざというときに困る原因にもなりますので、こちらの対策を行うべきというご意見をいただいております。

最後に、猫とかハトにえさを上げる方がいらっしゃって、そのことで繁殖したり、また糞害などが周囲に起こるということで、なかなかえさを上げての方はその方の、動物の愛護という目的でされてるということなんですけども、えさを上げるだけのような形で関わっていくことによって、周囲に悪影響とか、あと最近は猫のマダニによって、人が亡くなるような事態も出ますんで、それに対しましては、区とか大阪市のほうでマナーとか、そういった啓発が必要なんではないかというご意見のほうをいただいております。以上です。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございました。次に、西山区長よりコメントをいただきます。お願いいたします。

#### ○西山区長

委員の皆様方には長時間の熱心なご審議というかご議論というか、お疲れさまでした。大変ありがとうございました。

いろいろ今も聞かしてもらったら、いろんな地域課題があるなと思って聞いています。特に多かったのが、やっぱり防災を切り口にしたマンションへの働きかけというのもいいけども、やっぱり町会の加入率が少ないんで、もっと進めるべきではないかとか、マンションに役員さんを、代表者をつくって町会加入、マンション側から勧めてもらったらどうかというようなご意見もあったようです。

また、見守りの関係でも、見守りをする側の人間をもうちょっとしっかり見たほうがいいんじゃないかという声もありましたし、その関係でいいますと、さっき3班でもありましたけど、誰に聞いたらいいかわからへんと。民生委員さんが誰かもわからへんというような状態になってるんで、もっと周知す

べきやないかというようなご意見もありました。

あと、家具転倒防止についてはひとり暮らしとか高齢者の人は、人を自分とこの部屋に入れんのも怖がるのちゃうかと。町会がもっと間に入ったらええんちゃうかという声もあったようですし、最後、猫とか空き家の問題とか、ほんまにいろいろさまざまな問題があります。

あと、子育て施策とあわせて早期の高齢者対策、施策というのも取り組んでいくべきだし、ジュニアクラブの問題ですとか、それからその将来を担える人材の育成の問題とか、本当にいろいろ思いを聞かしていただきました。

後で整理をしまして、どういう活かし方、区政運営への活かし方ができるのかというのを、ここにいるメンバー含めて、それも区役所の職員全部含めて、改めて地域の皆さんとも相談しながら、来年の事業につなげていきたいなと思っておりますので、よろしくお願いします。

あと、今年、委員の皆さんの任期の改選の時期に当たります。2期4年以上続けてというのが条例上でできなくなっていて、1回お休みしてくださいというふうになってますんで、委員総数27名中21名の方が2期4年目を迎えておられます。大規模な改選時期になると思っております。

今回任期を満了される方は、区政会議、この会議の創成期にどういう会議にしていけばええのかというようなさまざまな形での意見もいただいて、今日みたいなこんな自由に闊達に意見交換ができるような区政会議の雰囲気、よその区の区政会議を聞いてましてもいろいろありまして、うち黙ってるでとかいう区もあるんですけど、僕、天王寺に来てから、この区政会議の闊達な意見交換というのは、24区に胸張れるかなと思っています。

今後とも引き続き、区政についてさまざまな形でご意見、ご支援賜りますとともに、次の期でまたやってみよかという気を持っていただけたらありがたいなと思っております。長期間ありがとうございました。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございました。最後になりますが、本日ご出席の足高先生と金子先生から一言ずついただきました。よろしくお願いいたします。

#### ○足高議員

皆さん、きょうは本当にすばらしいご意見、ありがとうございました。

ちょっと私から言わしてほしいのは、お年寄りの、特にこれから震災とかいろんなことがある中で、誰がそういう方々を見るのか。例えば行政が見るのか、あるいは民生委員さんが見るのか、あるいは昔やったらいろんな別々、特別に、言葉悪いけど10万円もうてやっておられたようなシステムもありましたけど、そういう方々ができるような。

今、ちょっとお聞きしてる中では、例えば独居老人であるとか、あるいはいろんな問題を抱えてる人がおったら、それぞれの民生委員さんなりその地区の人は、地図でマークをちゃんと張って、どこにどんな人がいてはるかというのを、今、調べてはると。それでもって、昔でしたら医師会が情報を出さないというのがあったんですけど、最近は医師会のほうもご協力をいただいてるように聞いているんです。それでやると、いざいうときにはそういう人たちを、民生委員だけが助けるんじゃないしに、ほかに例えばその地域にいっぱい、それぞれの連合も含めてありますから、その方々も一緒にできるような地図づくりをしたらいいと思う。

これ実は、私も五、六年前に北海道の教育大学に行ったときに、ちょうど震災の関係でいろんな図面をつくる方が言うてはったんです。そのときに、どうやって行きますか、自分がどこかの避難所へ逃げる間に、お年寄りはどうな人がいますかというのを、皆さん書けますかと。最初、僕ら書いてもらうときに、わざわざ大阪の地図をくれはったんです。ここを避難場所と決めましょうと。あなたのうちここやったらどうして行きますかと。その間にお年寄りがどんだけいてはりますかというのを、そんなにつくってくださいということをおっしゃってましたんで、そういうものを常々やっぱりおつくりになっておれば、行政に一々言われんでも、地域でそういう困ったお年寄り、独居老人とかいろんな方がおられますけども、そんな方々と一緒に手を携えて避難場所に逃げたりとか、いろんなことができるというお話も聞いて、それは若干私どもも大阪市の局にもそういう資料もお渡しして、そういうの考えたらどうですかと言いましたけど、そこから後は、どうなったかわかりませんが、そういうやり方もあります。

あるいは、今ジュニアクラブのお話もありましたけど、さっきおっしゃったようにジュニアクラブはもっとしっかりと子どもたちをどんどん集めて、一緒にやってもうたらええと思う。ただそのときに、

本来学校の校長先生が幹事をおやりになってるんですけど、その方々が来ないと言ったら言葉悪いんですけど、本来一緒に行動してもらわなあかん人が抜けたりしてる場合もあるやに聞いてますので、やっぱりジュニアクラブは区役所もそうですけども、その担当の課長さんとかいろんな入れて、やっぱり教育の関係の方々も一緒にいろんなことをやっていくことにすれば、子どもも一生懸命頑張りますし、いい形でまちづくりにもつながっていくんじゃないかと思ってますので、その点も一遍、ご検討していただいたら結構かと思います。

それから、1つだけ変なこと言いますけど、アンケートってあるでしょう。先ほど何十%というお話がありましたけど、アンケートというのは、本来はつくり方によってパーセンテージはめっちゃめっちゃ変わるんです。言葉悪いけども、昔の大阪市のアンケートをつくってる部署が1つあったんけど、ここでは非常に著明なアンケートづくりの大学の先生がメインでやっておられました。

彼が言うてはんのは、アンケートは300とったら何千人とっても一緒やと。そのような形なんですよ。だから、その増やすことをやろうと思ったら、アンケートのつくり方で増やせるし、それはどないでも操作はできるというようなこともあるというやに聞いてますので、それは多分そのままずっと残ってますから、区役所の分はしっかりとやってると思いますけど、やっぱりなかなかアンケートで上げるのは簡単やし、下げるのも簡単やというのは、これは事実ですので、その辺も本当につくるのであれば、ちょっと真剣に皆さんのご意見も聞きながら、アンケートをちゃんとつくっていけば、正しいもんにつながっていくんじゃないかと思ってますので、その点もこれから皆さんのお力で、いい形でつくっていただいたらありがたいと思ってます。

あんまり長くすると金子さんの時間がなくなったらいかんのでこの辺にしときますけども、どうぞ皆さん、今回入れかわりになられる方もたくさんおられるかもわかりませんが、どうぞこれからも区政会議をしっかり、区長も新しい区長で頑張ってますから、みんな力合わせて、いい形で天王寺のまちづくりに頑張ってくださいますように、よろしく願いいたします。きょうはどうもありがとうございました。

#### ○金子議員

それでは改めまして、皆さん、長時間、お疲れさまでした。

いつもいつもこの区政会議、参加させてもらって思うことなんですけれども、本当に天王寺のことを一生懸命よくしていこうという気持ちをお持ちで、いっぱいいろんな意見を出していただいているというのが、すごく感心して聞かせていただいております。

あと、やっぱりいつもどのチームでも出てくる意見が、今、やっぱり地域のつながりがどんどん希薄になっている。そして、独居老人というのがふえていく。高齢者がふえていく。その中でどうやって町会とかまちがつながっていきけるのかというところをすごく皆さん懸念されていて、あらゆるいろんなアプローチでできるんじゃないかという意見をいただいていると思うんです。

区役所なんですけど、役所というのはすごくそのことは、もちろん皆さんにご意見いただいているのもありますし、そういう問題意識というのは持ってるんですね。随分前から持ってるんで、かなりそういったところにアプローチするような事業は、取組はされてるんですけど、何せ役所というのは、私が思っているのは一番苦手なのが広報なんですよね。周知徹底する、広報することがすごく苦手だなと思ってます。なので、皆さん、御存じの事業とかがおありだと思うので、ぜひ口コミでも周知していただきたいなというのが、私たちが思うところです。

あと、ちょっと気になった皆さんのご意見、1点2点言わせてもらいたいですけれども、一本松さんがさっきおっしゃってた英語の講座が高いんじゃないかと。私もそれ聞いて、せやな、300万ってどうなんやろ、どれぐらいやってそれぐらいかかってんのかなと思って、ちょっとだけ北吉さん、担当者に聞いてたんですけど、やっぱり8回開催されてるようで、講師が5人いて、述べ人数だけでも $5 \times 8 = 40$ 人の講師の講師料というのが発生して、それにプラス15人の留学生のお手伝いもいただいているということなので。

それと、あとは広報が委託料の中に含まれてるということでしたので、広報自体を、さっき申しましたように役所にさせていただくということをすれば、少しは減額できるのかなと思いますけど、何せ苦手なようですので、それはそれぐらいかかってしまうのかなと。プロポーザルで公募に出したら、400万前後がずっと出てきたということなので、それぐらいかかってしまうのかなというのが感想です。

あと一点、都構想のことについてお1人、また都構想するんじゃないかというお話があったようなんですけれども、高齢になっていく上で役所が遠くなるのが困るんだというお話だったんですけど、そも

そも前回の住民投票にかけた都構想についても、役所はこのままここにあるという案だったんです。それをやはりちょっと私たちが周知徹底することができなくて、そういった誤解を生んでしまったということは、前回の反省としてありますので、今回また都構想については今、法定協議会といって都構想を練っていくというところが立ち上がったところで、第1回が開催されたところなんです。そこで練り上げていくものなので、今から、もちろんですが、前回もそうだったんですが、もちろん今回も役所が遠くなるようなことにはならないので、そこは安心していただけたらと思います。

本日は本当に皆さん、いろいろご意見いただきまして、ありがとうございます。これからも区政、市政にご尽力いただけるということで、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

足高先生、金子先生、ありがとうございました。また、小野議長様、栗谷議長様、また、委員の皆様方、多くのご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

以上をもちまして、平成29年度第1回天王寺区区政会議を終了させていただきます。お忘れものがないように、お気をつけてお帰りくださいませ。ありがとうございました。

—了—